



宮崎大学大学院 看護学研究科 看護学専攻(修士課程)

Master's Course for Nursing Science
Graduate School of Nursing Science, University of Miyazaki

進学説明会

日時：平成26年7月15日(火) 18:00~19:05
場所：宮崎大学医学部総合教育研究棟2F G201教室
日程：概要説明、募集要項説明、在学生からのメッセージ、
質疑応答、教員との個別面談等を予定しています。

○コース、教育・研究領域、募集人数

コース	教育・研究領域	募集人員
研究者育成コース	基盤システム看護学	10人 (若干名の外国人留学生特別 選抜を含む)
	地域・精神看護学	
	成人・老年療養支援看護学	
	母子健康看護学	
実践看護者育成コース	がん看護 ※1	
	実践助産学開発	
	実践助産学 ※2	

※1 がん看護領域はがん看護専門看護師(CNS)の養成課程です

※2 実践助産学領域は国家試験受験資格を得ることができる免許取得課程です

○出願期間、試験日等日程

区分	1次募集	2次募集
出願資格認定 受付期間	平成26年7月28日(月)~8月1日(金)	平成26年12月1日(月)~12月5日(金)
出願期間	平成26年8月18日(月)~8月22日(金)	平成26年12月19日(金)~12月26日(金)
試験日	平成26年9月9日(火)	平成27年1月8日(木)
合格発表	平成26年10月3日(金)	平成27年2月11日(水)

* 入試情報は宮崎大学ホームページからも
ご確認いただけます。
「宮崎大学TOPページ」→「入試情報(学部・
大学院等)」→「大学院入学試験」

【宮崎大学医学部学生支援課】
〒889-1692 宮崎市清武町木原5200
TEL:0985-85-8970 (入試担当)
TEL:0985-85-9126 (大学院担当)

大学院看護学研究科看護学専攻(修士課程)の概要

○社会人学生に対する修学上の配慮

有職者が離職することなく修学することが可能となるよう昼夜開講しております。

職業を有している等の理由により通常の修業年限（2年）で修了することが困難であることに対して、修業年限を延長、且つ単年度の授業料負担を軽減することを目的として長期履修制度を設けています。詳細については担当へお問い合わせください。

○履修コース

(1) 研究者育成コース(Training Course for Researchers)

「研究者育成コース」は、看護学の教育者・研究者としての基礎づくりをするコースであり、学士教育を基盤として、人間の個体としての特性や看護学の体系化、教育評価、看護技術の開発や実践効果の検証などを積極的に推進していく能力を育成する教育者・研究者の育成を目的としています。

(2) 実践看護者育成コース(Training Course for Advanced Practice Nurses)

「実践看護者育成コース」は、専門看護師の育成を行う「がん看護」、実践力を有する助産師を育成する「実践助産学」（免許取得課程）と、実務経験のある助産師のキャリアアップを図る「実践助産学開発」を置き、教育・臨床で研究的思考を持って実践する看護専門職の育成を目的としています。

○領域別研究概要

教育・研究領域	概要
基盤システム看護学	看護を享受する個人に対する看護技術の効果について、特に生体環境及び形態機能に関わる分野について論じ、電位トポグラフィーやテクスチャマッピングを用いた表現法などを駆使し、看護の方法及び効果との関連性及び看護技術を評価するための機能・代謝学的な効果測定法について教授・研究する。 また、ヒューマンケアリングに基づいた看護介入と実践モデルの開発及びその有効性を検証する。並びに継続教育プログラム・教育方法を開発する。さらに高度医療における良質な看護を提供する専門職者を育成するために安全管理プログラムの探求と展開、教育・実践について教授・研究する。
地域・精神看護学	地域の集団特性に伴う健康回復、維持・増進のために、地域の健康状態の把握、リソースの調整・開発、看護援助方法及びトータル・クオリティマネジメントについて教育・研究を行う。 また、精神保健医療福祉に関する制度や体制についての歴史的背景や現状の精神保健医療を踏まえた看護職の役割や機能について理解を深める。認知行動療法などのメンタルヘルスを向上させるための理論やスキル及びライフサイクルにおける対象者の心理・社会的問題、危機的状況における看護アセスメント、看護実践方法等について教授・研究する。
成人・老年療養支援看護学	疾病や治療をとまなう療養生活が成人期、及び老年期の対象、及び家族にもたらす影響と反応に関連する理論を学び、対象と家族のQOLの向上を目指した看護介入について探求するとともに、対象とその家族のセルフケア能力の維持・向上を目指し支援するための看護実践方法を開発するための能力を修得できるよう教授・研究する。
母子健康看護学	女性と小児の健康について、その特性をトータルに理解し、関連する諸理論を学ぶ。健康における課題と看護方法を探究するとともに、女性・小児・家族の健康現象を分析把握して、先進的な看護実践を開発するための能力を修得できるよう教授・研究する。
がん看護	がんに関する専門的知識を深め、がん看護専門看護師に求められる能力として高度な実践、看護職への教育・相談、コーディネート、倫理的調整、研究活動を修得ができるよう教授・研究する。
実践助産学	助産学の専門性の高い知識、及びコアとなる助産技術を確実に修得し、対象の意思・主体性を尊重したWoman-centered careとエビデンスに基づいたケアを提供するための能力を修得できるよう教授・研究する。（助産師国家試験受験資格が取得できる。）
実践助産学開発	専門職として、将来、助産師外来・院内助産、地域における開業助産、子育て支援などを自立してできる能力を修得できるよう教授する。女性・小児・家族の健康現象を分析して、先進的な看護実践を開発するための能力を修得できるよう教授・研究する。